

のびのび学習だより

自ら考え、表現できる子どもの育成をめざして～継続は力なり～

今年度は、「読む・書く・話す・聞く」の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し習慣化を目指すとともに、授業においても「表現する力」をつけていきたいと考え授業改善に取り組んでいます。

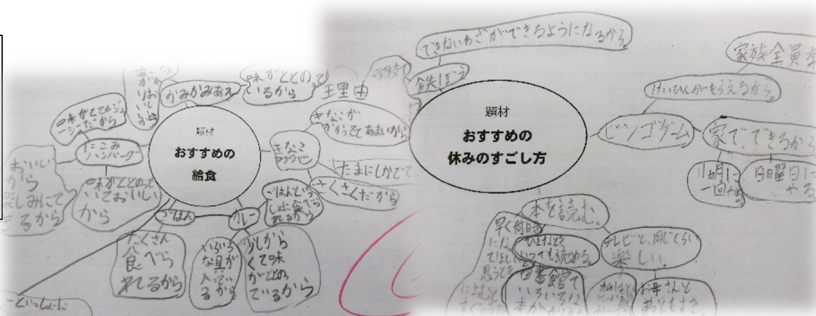
☆3年国語科『しょうかいして、感想を伝え合おう～3年生でがんばったこと～』

3年生国語科で「学校生活をふり返り、自分のがんばったことを作文にまとめ、おうちの人に伝えよう。」という学習を行いました。まず、図を活用し、自分の考えとそれを支える理由や事例を書き出します。その後、より良いものにするために友達と交流し、文に対する感想や意見を伝え合います。そして、その図を用い自分が一番伝えたいことは何か、どの順番でまとめるか考え、文にしていきます。

3年生は、継続して「100マス作文」に取り組んでいます。その時にも、この図を用いています。書くことが習慣化するだけでなく、くわしく書くことができるようになってきました。

㊦ まず自分

自分の書きたいこと（テーマ）について図にかいていきます。



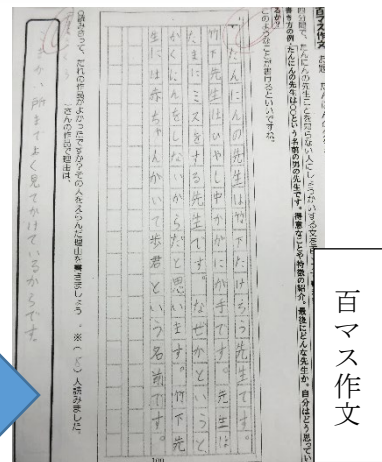
上のように、作文を書く前に、テーマについて思いつくことを図にどんどん書いていきます。書くことで内容が広がり詳しくなっています。

㊧ 友達と交流

自分の書くテーマについて友達に説明します。わからないことや、良いところを交流しながら、赤鉛筆で書き加えていきます。

「がんばった」とは、具体的にどんなことを、がんばったの？

この時、家の人は何て言って応援してくれたの？



百マス作文

交流で付け足したことなども含め、自分の伝えたいことを文にしています。



『推し、燃ゆ』で芥川賞を受賞した宇佐見りんさんのインタビュー記事を読む機会がありました。彼女は、小学校の授業で短い物語を書いたことがきっかけで小説の世界に興味をもったそうです。多賀小学校の授業でもこんな素敵なきっかけが生まれるとうれしいです。

☆1年国語科『これは なんでしょう』

1年生の国語科「これは なんでしょう」の学習の1コマです。身近なものをテーマにその特徴やヒントを考えクイズにします。1年生はペアでクイズを出します。まず、友達と一緒にテーマとヒントを考えます。そして、難しいヒントからだんだん答えがわかるようにするため、ヒントを出す順番をペアで相談します。

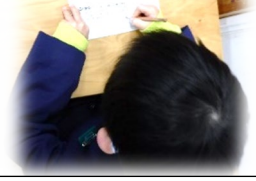
1年生は、「ペアで1分間トーキング」の取組をしています。朝のトーキングは、友だちの話を聞いたり自分の話を聞いてもらったり、とてもうれしい時間です。聞いた話を紹介することも上手になってきました。



四角い形は、いっぱいあるから、これが1番目のヒントにする？



このヒントは、答えがわかってしまうからさいごかな。



㊦ まず自分
自分で順番を考えます。

㊧ ペアで相談
ペアでお互いに、意見を出して相談します。

㊨ ふりかえり
学習したことを自分の言葉で書きます。

100マス作文、ペアでの1分間トーキングなど、日常的に継続した言語活動を仕組んでいくことで、子どもたちは、豊かな表現力の基礎となる力をつけてきています。毎日、毎日の小さな積み重ねの大切さを強く感じた学習場面でした。これからも、子どもたちと楽しく言葉の力を積み重ねていきたいと思えます。『継続は、力なり』です。

調べ学習いろいろ・・・様々な資料を活用して、自分の必要な情報を取り出し、比較、整理し新聞などにまとめていきます。図書室、町立図書館、タブレット、関係機関の資料や情報を集め、分析検討し、新聞などにまとめる学習を行っています。

4年社会科～滋賀県～
「特色のある地域のくらし」

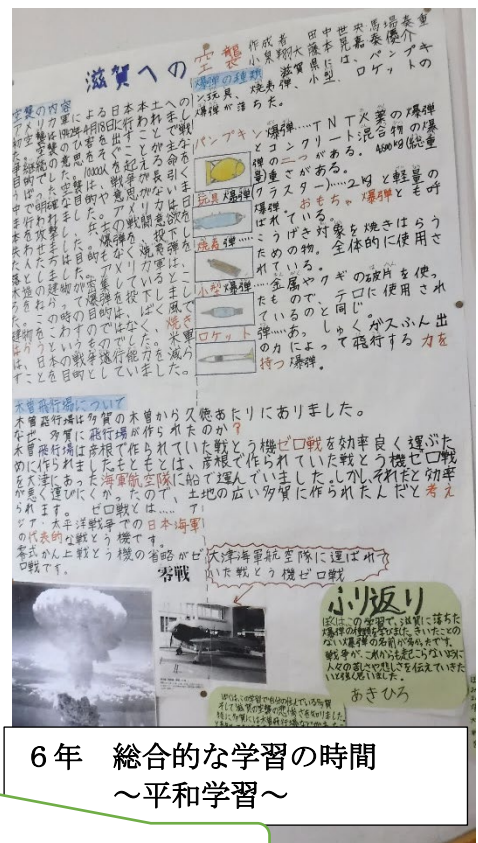


彦根城・井伊直政

琵琶湖の生き物



5年総合的な学習の時間
～お米～



6年 総合的な学習の時間
～平和学習～

個人でテーマを設定し調べ、まとめています

グループで協力して調べ、まとめています。